

一日一斉「おもてなし遍路道ウォーク」に参加していますか？



宍戸 栄徳

香川大学名誉教授
(NPO 遍路とおもてなしのネットワーク
事務局長)

Harunori
Shishido

1 これまで何回も紹介していますが、一日一斉「おもてなし遍路道ウォーク」について今回の特別な意気込みを紹介します。

一日一斉「おもてなし遍路道ウォーク」について改めて簡単に紹介します。このイベントは約1,200kmあると言われる四国の遍路道を約10kmの100あまりの区間に区切り、それぞれの区間をみんなで手分けして安全に歩けるか、道案内はちゃんとできているか、休憩場所やトイレはあるかなど歩き遍路の方のために「おもてなし」のところで点検しようというものです。点検結果は四国遍路世界遺産登録推進協議会の「受け入れ体制の整備」部会で報告し今後の遍路道の整備などに活用してもらえると期待しています。

昨年7月に高知市で開催された四国遍路世界遺産登録推進協議会の総会において会長の佐伯勇人氏が挨拶の中で一日一斉「おもてなし遍路道ウォーク」に触れられ、四国遍路の世界遺産登録に向けてこのイベントは大変有意義なので盛り上げていきたいと述べられました。この言葉は具体化され、佐伯会長が会長をされている四国経済連合会や四国家サポーターズクラブ、さらに昨年度の開催において多くの空白区間にエントリーして四国一周の遍路道をつなげる点検ウォーク実現に多大の貢献をされた日本郵便四国支社の方々などが積極的に参加されています。

2 今年は点検ウォークに加えて、お接待による参加も受け付けています。今回お接待での参加に広げたのは、2月23日(木・祝)の開催日に点検ウォークをする方々へそして一般のお遍路さんにお接待をすることによって四国遍路の重要な要素であるお接待文化を身近に感じてもらい、その経験を今後の継続的なお接待へとつなげてもらいたいという思いからです。

参加申し込みは1月31日(火)としていますので、この文章を読まれた方が申し込む

ことは難しいと思いますが、本会報の1月号の送付に際して案内のチラシを同封させていただきますので、香川県中小企業団体中央会会員の皆様の中にも参加申し込みを済ませた方がおられると思います。

3 一日一斉「おもてなし遍路道ウォーク」は遍路道の点検という直接的な目的だけでなく、四国遍路の世界遺産登録にあたって、地域コミュニティがどのように関わっているかを重視するようになってきているので、このイベントに四国の多くの方が参加されると、四国遍路の世界遺産登録に向けた地元の盛り上げりをアピールすることができると考えています。四国遍路世界遺産登録推進協議会の佐伯会長が一日一斉「おもてなし遍路道ウォーク」に期待される背景はこのような点にあると思います。

ももとの発想としては四国の地元の人間がおもてなしのところで遍路道を一齐に点検しようと言うことだったのですが、参加者の中には四国島外の方もおられます。遠くは宮城県から昨年に続いて参加される方などもおられ、参加者の地域的な広がりも感じています。

4 関心を持っていただけてもいろいろな事情で参加できない方も多いと思います。参加申し込みのために作成している「遍路道点検マップ」は標準的な歩き遍路道のルートと一日一斉「おもてなし遍路道ウォーク」での点検のために作成した100あまりの区間を示し、それぞれの区間への参加申し込みの状況を見ることができます。赤色のピンは参加申し込みがある区間、緑色のピンは参加申し込みがない区間を示しています。「遍路道点検マップ」を閲覧して、このイベントの関心を持っていただければと思います。

昨年はすべてのピンが赤色になりました。今年も皆さんがこの記事を読んで見られるときにすべてのピンが赤色になっていることを願っています。

「遍路道点検マップ」 <https://komelabo.sakura.ne.jp/omotenashi-henro-walk/app/map/>
は香川大学創造工学部の米谷雄介准教授の協力で作成しています。

中央会だより 1

新春講演会・交流会を開催

本会は1月25日、高松国際ホテル（高松市）において、新春講演会並びに交流会を開催、県内の組合役職員や経営者ら約80名の出席をいただきました。

講演会では「コロナ後の世界と日本を展望する」をテーマにジャーナリストの長谷川幸洋氏よりご講話いただきました。

講演では「新型コロナ後」の世界はどのように変わるのか、ロシア・ウクライナ情勢や日韓、北朝鮮、中国経済の行方など緊迫するアジアの現状や外交問題など、最新情報を織り込みながら、政局を含めた日本と世界の情勢を分かりやすくお話いただきました。

出席者は、今後の日本経済の先行きや企業運営への影響について熱心に聴講されていました。

講演会終了後、交流会が開催されました。

はじめに、本会国東照正会長より「昨年は、長引くコロナ禍、ウクライナ情勢、急速な円安等により人や物の流れの縮小停滞、燃料や原材料価格の高騰が続くなど、非常に厳しい状況であった。加えてDXの推進、人材の確保や育成、事業承継、脱炭素社会の実現に向けた取組みなど様々な課題にも直面している。今後、中小企業が持続的に発展していくため、多様な連携組織を通じた相互補完により、環境変化に即応できる経営体質を作り上げることができるよう、国や県の中小企業施策に沿った各種事業をより一層積極的に推進していきたい」との挨拶がありました。

続いて、四国経済産業局産業部長岩崎政典様、香川県審議監大山智様、香川県議



▲四国経済産業局岩崎産業部長来賓挨拶



▲交流会の様子



▲長谷川講師



▲会場の様子



▲国東会長挨拶

会経済常任委員長山本悟史様、香川労働局

長松瀬貴裕様よりご挨拶をいただいた後、商工中金高松支店長村岡秀寿様より乾杯のご発声をいただき、多数のご来賓のもと和やかな雰囲気の中で、情報交換とともに会員相互の交流が図られ、盛会のうちに終了となりました。

中央会だより 2

外国人技能実習制度適正化事業 適正化講習会を開催

12月21日、ホテルパールガーデン（高松市）において、外国人技能実習生受入事業の適正な運営を図ることを目的に講習会を開催、組合関係者ら約60名の出席がありました。

はじめに、外国人技能実習機構高松事務所認定課長・神高英彰氏を講師にお迎えし、「技能実習制度運用要領の改正について」、具体的な事例を踏まえながら説明をいただきました。

続いて、同事務所指導課長・石井暢樹氏より、「監理団体及び



▲講習会の様子

実習実施者への実地検査について」をテーマに、現状と問題点、監理団体（組合）が実習実施機関（組合員企業）を監査する際に確認する労働基準法に係る法定帳簿等のポイント等について説明があり、出席者は熱心に耳を傾けていました。



▲神高認定課長



▲石井指導課長

会員ニュース 1

たかまつ元気DAY!を開催

協同組合日専連高松

協同組合日専連高松（津村潤治理事長）は、12月28日、高松丸亀町壱番街前ドーム広場と周辺商店街（高松市）において、「たかまつ元気DAY!」を開催しました。

このイベントは経済産業省「がんばろう!商店街事業（旧 GoTo 商店街）」の助成を受けて開催されたもので、健康づくりを目的としたスポーツ体験を中心に、多彩なイベントが中央商店街各所で終日展開されました。

また、協同組合日専連高松と公益財団法人高松市スポーツ協会は、高松市におけるスポーツの普及振興により市民の健康増進と体力向上を図り、明るく豊かな市民生活の形成及び活力ある社会の実現の為、連携協力に関する包括協定を締結し、オープニングセレモニーで調印式が行われました。

高松丸亀町壱番街前ドーム広場に設置されたステージでは地元団体を中心にダンスや新体操など、華やかなライブパフォーマンスが披露され、拍手を浴びていました。

日本一長いアーケードを巡りクイズに挑戦する「アーケード2kmウォーク」や「スポーツ体験スタンプラリー」、「犬のお灸教室」、「eスポーツ体験コーナー」の他、県産品が当たるイベントやたかせん加盟店では普段よりお得に買い物ができるなど、趣向を凝らした内容に、来街者は「体を動かすのが面白くて、体にもよい」と楽しんでいました。



▲調印式の様子



▲ステージの様子



▲スポーツ体験(ライオン通)

会員ニュース 2

組合加盟店マップを作成

本場さめきうどん協同組合

本場さめきうどん協同組合（大峯茂樹理事長）は、令和4年度小企業者組合活動支援事業（本会・一般事業）を活用し、このたび組合加盟店マップを作成、配布を開始しました。

マップは、72店舗の情報面と店舗所在地並びに周辺地域の観光スポットが書かれた地図面で構成されています。高松エリア・中讃・西讃エリア、東讃・小豆島エリアの3ブロックに分け、それぞれの住所、電話番号、営業時間、定休日が記され店舗外観の写真も掲載、行きたい店舗の情報が一目で分かる仕様です。1万部を作成し、各店舗や関係各所に設置しています。

組合によると「コロナ禍で多くの店舗で来客数が減少しており、特に観光客の減少は著しい。現在は回復傾向にあるが、以前の客足に戻っているとは言い難い状況のため県民の皆様には色々な店舗に行ってください、お気に入りの店舗を増やしてほしい。また、観光客の方々にも組合加盟店PRをしていきたい」とマップの活用を期待しています。



▲マップ(店舗情報)



▲マップ(地図)

FROM 青年部

岡山県中小企業団体青年中央会との交流会を開催

1月13日、岡山県中小企業団体青年中央会との交流会を高松市内において開催しました。
 今回は役員同士の情報交換を目的に本会青年部から木村会長はじめ9名、岡山県青年中央会から松本会長はじめ5名の出席がありました。
 はじめに両県会長より各団体の概要、実施事業の説明があり、その後の懇親会では終始和やかな雰囲気のもと意見交換を行うことができました。
 隣県でありながらこれまでほとんど交流のなかった両団体ですが、今後も交流を深めていこうという事になりました。



▲挨拶する木村会長



▲参加者の皆様

お知らせ 1

香川県物価高騰等対策緊急支援事業給付金について

コロナ禍における原油価格・物価高騰等で厳しい経営状況にある県内事業者に対し、事業継続を支援します。

支給対象

香川県内に本社又は主たる事業所（個人事業主にあつて事業所がどこにも無い場合には住居）を有する中小企業、中堅企業等又は個人事業主

支給要件

- 支払い要件は、令和4年1月1日以前から県内で事業を継続しており、今後も県内で事業を継続する意思を有し、次の①又は②のいずれかの要件を満たしていること
- ①令和4年4月から12月までの任意の連続する3か月の売上が、平成30年又は令和元年同3か月の売上高と比較して20%以上減少していること
 - ②令和4年4月から12月までの任意の連続する3か月の売上総利益率が、平成30年又は令和元年同3か月の売上総利益率と比較して10%以上減少していること

支 払 額	法人	10万円
	個人事業主	5万円

申請受付期間 **令和5年1月10日(火)～令和5年2月28日(火)** 当日消印有効

詳しくは、「香川県物価高騰等給付金」で検索し、ご確認下さい。

ホームページ <https://kagawa-bukkashien.com/>

※その他、高松市に事業所を有する法人及び個人事業主の皆様は「高松市物価高騰対策緊急支援事業給付金」もあります。香川県物価高騰等給付金と併給することも可能です。詳しくは下記ホームページをご確認下さい。

https://www.city.takamatsu.kagawa.jp/jigyosha/shien_josei/bukkakoutou.html

お知らせ 2

生産性向上を目指す皆様へ ～「ものづくり・商業・サービス補助金」のご紹介～

当補助金は、新製品・サービスの開発や生産プロセス改善等、事業環境変化に合わせた支援が用意されています。

概要	補助上限 <small>※補助上限額は従業員数に応じて異なる。</small>		補助率
通常枠 革新的な製品・サービス開発又は生産プロセス・サービス提供方法の改善に必要な設備・システム投資等を支援。	750万円～ 1,250万円		1/2、 2/3 (小規模・ 再生事業者)
回復型賃上げ・雇用拡大枠 業況が厳しい事業者*が賃上げ・雇用拡大に取り組むための革新的な製品・サービス開発又は生産プロセス・サービス提供方法の改善に必要な設備・システム投資等を支援。 <small>*前年度の事業年度の課税所得がゼロである事業者に限る。</small>	750万円～ 1,250万円		2/3
デジタル枠 DXに資する革新的な製品・サービス開発又は生産プロセス・サービス提供方法の改善による生産性向上に必要な設備・システム投資等を支援。	750万円～ 1,250万円		2/3
グリーン枠 温室効果ガスの排出削減に資する取組に応じ、革新的な製品・サービス開発又は炭素生産性向上を伴う生産プロセス・サービス提供方法の改善による生産性向上に必要な設備・システム投資等を支援。	エントリー	750万円～ 1,250万円	2/3
	スタンダード	1,000万円～ 2,000万円	
	アドバンス	2,000万円～ 4,000万円	
グローバル市場開拓枠 海外事業の拡大等を目的とした設備投資等を支援。海外市場開拓 (JAPANブランド) 類型では、海外展開に係るブランディング・プロモーション等に係る経費も支援。	3,000万円		1/2、 2/3 (小規模 事業者)

大幅賃上げに係る補助上限額引上の特例

補助事業終了後、3～5年で大幅な賃上げに取り組む事業者に対し、上記枠の補助上限を100万円～1,000万円、更に上乘せ。(回復型賃上げ・雇用拡大枠などは除く)

今後のスケジュール (14次締切)

2023年3月24日 (金) 電子申請システムでの応募受付開始
4月19日 (水) 応募締切

ものづくり補助金総合サイト

応募方法等の詳細は
こちらからご確認ください

お問い合わせ

香川県地域事務局 ものづくり支援室 (香川県中小企業団体中央会)
〒760-0071 高松市藤塚町3丁目3-15 太洋物産ビル2階
TEL 087-802-3722 FAX 087-802-3723

◆応募に関する不明点は下記までお問い合わせください。

ものづくり補助金サポートセンター
TEL 050-8880-4053



県内における12月の前年同月比DI値は売上高DI値、 収益DI値、景況DI値すべての指標で改善した

2022年12月

Industry Information

製造業	食料品 	<ul style="list-style-type: none"> ●コロナ感染者は増加傾向にあるものの、行動制限もなく旅行支援等もあり、観光地を訪れる人や帰省客も増え外食も客足は戻りつつある。業務用需要は回復傾向にある。(製粉製麺) ●日本冷凍食品協会による10月の冷凍食品生産数量は昨対96.0%となり、令和4年の累計は昨対100.4%となった。カテゴリー別ではフライ揚げ物類が93.5%、フライ類以外の調理食品が95.6%、菓子類が106.4%と菓子類以外が前年を下回った。12月は人流増により消費が増えたことで荷動きも良くなってきている。その反面、原材料やエネルギーコスト、人材確保に要する費用増などコスト上昇は続いており、冷凍食品業界でも春の値上げが検討されている。(冷凍食品) ●組合員の業況については、年末商戦で期待するほどの売上増加は見込めなかったものと推測される。組合の生揚生産状況は計画どおり進捗しているものの、供給面で前年同月比(4月～12月)で3%程度減少している。また、コロナ禍、円安などの影響で、大豆、小麦、食塩などが高騰し、原材料価格は前年度に比較して1.7倍から2倍に値上りしたものもある。(醤油)
	繊維工業 	<ul style="list-style-type: none"> ●12月は初旬から寒波による気温の低い日が多く昨年より出足は良かったがその後中だるみとなった。下旬の寒波で年末商戦には好影響があったが大きな山は築けなかった。アウトドア関連商品等、好調に見えるジャンルの商品はあるものの円安の影響は依然として大きく利益面では厳しい状況である。売上面では皮革手袋については若干上向いてきたが対前年比は微増程度である。繊維製手袋については、対前年比110%程度までは上昇したがコロナ前との乖離はまだ大きい。(手袋)
	木材・木製品 	<ul style="list-style-type: none"> ●取引先の中でもインターネット販売は受注減となった。当方の値上げに対し、より安価な商品にシフトしている。物価高の市況下では当然かもしれない。一方で国産材・県産材利活用の家具に対するアクセス・問い合わせは増加傾向である。SDGsも追い風であろうと思う。2023年度は、「100% MADE IN SANUKI」をテーマに活動を活性化させたい。(家具) ●木材、住宅関連資材の価格上昇により新設住宅着工数は伸び悩んでいる状況下で、木材製品価格は全体的に弱くなってきたが販売には繋がらない。昨年同月と比較すると業界の景況は少し悪化状態である。(製材) ●木材のみならず建築資材のほとんどが昨今の世界情勢により値上がりし、高止まり、品不足のまま推移しているため、住宅着工戸数は減少傾向にあり、受注の動きは鈍くなっている。従って業況も芳しくない。(木材)
	印刷 	<ul style="list-style-type: none"> ●通常期であれば年末にかけて様々な案件があり忙しい月であるが2022年は動きが鈍く売上もほぼ前年同様であった。依然として新型コロナウイルスの影響が大きく社員やその家族への感染が各社で報告されている。
	窯業・土石製品 	<ul style="list-style-type: none"> ●セメント等原材料の値上げが急激で連続的にあり、価格への転嫁が課題である。(生コン) ●受注はあるが稼働率が回復していないため、事業所内で操業調整をしている。回復傾向ではあるが、業況改善には至っていない。(石材加工)
	鉄鋼・金属製品 	<ul style="list-style-type: none"> ●インボイス制度対応が発注先との取引継続に繋がると認識し、各社登録番号取得に努めているところである。また、電子帳簿保存法対応といったDXを各社なりに如何に導入するかが、今後の業界のレベルアップに関係すると信じ、新たな年に向けて思うところである。(鍍金) ●県内建築鉄骨は、大型物件では高松駅周辺の再開発や工場などを中心に1000トン以上の物件が動いてきたが100トンから300トン規模の中小物件が低迷している。しかし、他地域から受注があるファブは4ヶ月～10ヶ月程度の受注を確保しており、その協力会社の稼働率は高く全体的にも足元は多忙の状況にある。一方、鋼材をはじめとする原材料の価格、一次加工費、運送費などのコスト上昇分は充分といえないが一定程度の価格転嫁は進んでいる。反面、加工賃が圧迫気味と言う声も聞かれ、従来にも増して適正価格での受注が重要となる。(建設用金属)
	輸送用機器 	<ul style="list-style-type: none"> ●業況は前月と変わらない。人員も仕事も大きな変化はなく、低調に推移している。(造船)
非製造業	その他 	<ul style="list-style-type: none"> ●物価が上がってきているので、今年は売上数が減少すると予想している。(団扇) ●コロナは相変わらずであるが、各地年末の人は多く、売上も昨年よりは増加している。価格の値上げは年明けまで持ち越して採算面では悪化している。資材の値上げも一応落ち着いているが、春先に漆が値上りしそうである。(漆器) ●12月の業況は昨年同月を比べてほぼ同じ状況であった。自衛隊受注の布団作りが始まり、納めているので、売上が少し上がった。その分小売店の売上が少し下がり、昨年の12月とほぼ同じ状況であった。来年1月から納める布団の価格が少し上がるので良いが、電気代が上がる予定なので喜んではいけない。(綿寝具)
	小売業 	<ul style="list-style-type: none"> ●各県による全国旅行支援のおかげで業務関係は回復したようだが輸入品等の大幅な値上げラッシュが続く消費者の購買意欲は下げ気味傾向であった。(青果物) ●県外安売業者が進出し、収益悪化のSSが多く発生している。地下タンクの50年問題や後継者がいない事等により廃業するSSが出てきている。離島のガソリンスタンド廃業問題等も発生している。(石油) ●コロナの勢いが衰えるどころか増々力ついてきて、いよいよ第8波かという状況に入ってきている。9月初旬に理事会を開催して以来、組合員と顔を合わせる機会が全くない。県内の業界状況はよくないと推測され、一時期寒さが到来したが、低価格の電気ストーブや電気毛布程度の動きしかなく、エアコンやテレビは鈍い出足である。(電機)
	商店街 	<ul style="list-style-type: none"> ●オミクロン株のまん延により新型コロナウイルス感染者数が11月より更に増え、月間で累計3万7千人強と8月に次いで過去2番目の多さになった。また高齢者を中心に感染で亡くなる方が増えていることから警戒感が強まり、外出を控える動きも見られた。ただ、旅行や観光への政府による支援策は継続していることで観光客や旅行を楽しむ人も多く、年末であることも含め、街は人通りも増えにぎわいは継続されている。3年ぶりの行動制限のない年末年始であったが12月の売上は前年並みか前年をやや下回る数字である。多くの業界でようやくコロナ禍の影響を脱出できつつあるが、小売、飲食店のほとんどはまだコロナ禍の渦中であり、コロナ前の状態に回復するにはあと半年はかかる見通しである。一方でこのところ上がり続けていた物価も今しばらくは昨年のコスト上昇分を価格に転嫁しきれていない分

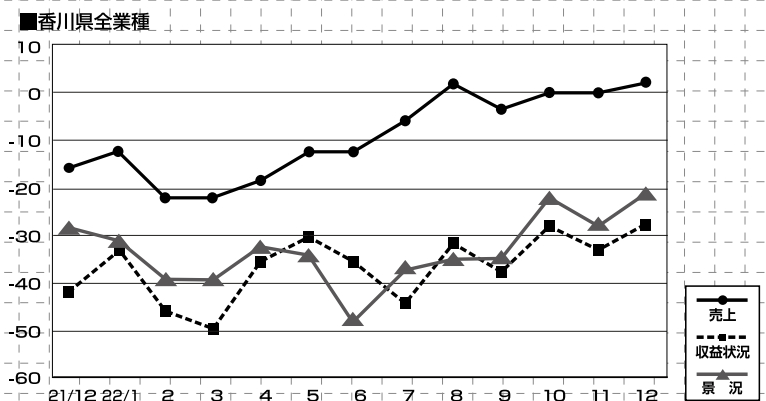
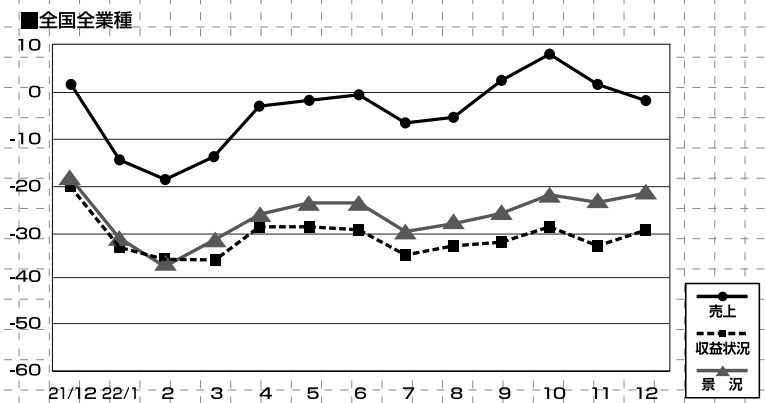
12月の県内景況は、前年同月と比べて売上高DI値は2.1ポイントで前月調査の0ポイントから2.1ポイント、収益DI値は-27.1ポイントで前月調査の-33.3ポイントから6.2ポイント、景況DI値は-20.8ポイントで前月調査の-29.2ポイントから8.4ポイントとそれぞれ改善した。全国的に12月のDIは概ね横這いで推移。年末商戦や、インバウンドを始めとする人流の回復等により、一部のDIは改善したものの、電力等のエネルギーや原材料価格の高騰、価格転嫁遅延、半導体等の部品・人手不足等による納期遅延等により、前月比低下したDIもあり、概ね横這いの結果となった。

非製造業	商店街 ☔	<p>の値上げが今年前半は続くと思われるものの、昨年末頃から為替円高方向となり資源価格もある程度の落ち着きが見られたことから本年後半には電気代を含め物価全体が落ち着くものと期待している。以上のことから、本年前半が正念場と言え、今春に予定されている多くの企業での賃上げが実施されれば本年後半には本格的に消費も回復に向かうことになる予想している。(高松市①)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コロナ感染者数の倍増で人通りは少なく買い物客も減った。飲食店の嘆きをよく耳にするようになった。ボーナスが出たのかなと思われる集団はみかけたが、以前のように華やかな服装を見ることもなく、初旬中旬は静かに終わり、下旬には若者達が増えて少し人通りが増えたように思われた。(高松市②) ●コロナの影響が続き売上が伸びない。(坂出市) ●食料品・飲食は12月はかきいれ時だが、様々な物価の上昇で価格転嫁が難しいなか、売上があっても利益が消える状況のようである。物販などは、ほかの月よりも12月の方が数字が悪いとの声も聞き、資金繰りの悪化もともなって厳しい年の瀬になったと感じている。(丸亀市) ●各組合員や各事業者とも「悪材料が出揃った中で、不安定な低空飛行を有効な手立てもなく、当面継続する道しかない」というのが偽らざる心境だと推察する。事業の継続に悩む小売店仲間も現実問題として知り得るところで出てきている。(観音寺市)
	サービス業 ☔	<ul style="list-style-type: none"> ●組合員の業況は、12月は本来ならお正月や成人式を控えて繁忙期なはずだがコロナ禍で相変わらず売上が伸びず苦悩が続いているようで、高齢者店舗では早終いしていたり、若者の店舗でも年末休暇に入っている店舗も見かけられた。(美容)
	建設業 ☔	<ul style="list-style-type: none"> ●建設業は高齢化が他産業に比べて進んでおり、高度な技術力を有する熟練作業員の退職に伴う従業員の補充が厳しい状況である。特に若者の人材確保に関しては依然厳しい状況だが、国交省が公表した建設業法政令改正案において、技術検定の受験資格見直し盛り込まれた。多くの企業が高卒者を技術者として育てる事が一般的だが、現場を任せられる1級施工管理技士資格取得まで、最短で指定学科卒で10年、指定学科以外で11.5年待たなければならなかったが、一律19歳以上が1級の第一次検定受験要件となる。担い手育成が加速し、担い手確保の追い風になる事を期待したい。(総合建設)
	運輸業 ☺	<ul style="list-style-type: none"> ●令和4年11月の対前年同月比は、営業収入は109.2%、輸送人員は113.8%と増加している。しかしながら、令和元年同月比は、営業収入74.2%、輸送人員は69.3%と新型コロナウイルスの影響は大きく、非常に厳しい経営状況が続いている。(タクシー) ●令和4年11月分高速道路通行料金利用額の対前年同月比は、2.0%増となり、対前月比では0.6%減となった。また、11月分利用車両数の対前年同月比は、0.3%増となった。(トラック)

香川県内の業種別DI値の変化 (対前年同月比)

	売上高	収益状況	業界の景況
製造業	食料品	☺	☺☔
	繊維工業	☔	☔☔
	木材・木製品	☔	☔☔
	印刷	☺	☺☺
	窯業・土石製品	☔	☔☔☺
	鉄鋼・金属製品	☔☺	☔☔☺
	輸送用機器	☺	☺☺
	その他	☔	☔☔☔
	非製造業	卸売業	☔☺
小売業		☔☺	☔☔☺
商店街		☔	☔☔☔
サービス業		☔☺	☔☔☔
建設業		☔	☔☔☔
運輸業		☔☺	☺☺☺
その他		☺	☺☺☺

DI値の推移 (対前年同月比)



※集計結果の詳細は、本会ホームページ上でご覧いただけます。
<http://www.chuokai-kagawa.or.jp/>

商工中金だより

お客様のライフステージごとの経営課題に着目し、特に商工中金として事業性評価能力を向上し、積極的に強化していく3つの分野(カテゴリーS・E・T)を「差別化分野」と位置付けました。お客様の企業価値向上とともに、商工中金自身の長期的な収益基盤拡大や適切なリスクテイクを通じた持続的成長のため、今後、積極的に対応力向上を図っていく分野です。

Startup (スタートアップ支援)

スタートアップ特有の課題を踏まえた
一気通貫のサポート

- ▶ファイナンスを中心とする適切なリスクテイク
- ▶メザンファイナンス、外部アライアンスの活用
- ▶ビジネスマッチングを通じたセールスサポートの強化

Esg (サステナブル経営支援)

“SPEED”の視点*を活用した
事業性評価やお客さま支援を推進

- ▶CO2排出量削減コンサルティング等、サービス拡充
- ▶従業員エンゲージメント向上、BCP策定支援等
- ▶中小企業組合、関係会社等との連携

*商工中金が独自に定めた、組織・職員のサステナビリティに対する取組みの基本的な視点。
SPEED・・・Sustainability, Productivity, Empathy, Ecology, Digitalの頭文字

TurnAround (事業再生支援)

専門性向上と対応力の底上げにより、
事業再生のトップブランドを構築

- ▶経営危機の未然防止と危機状態からの脱却支援
- ▶多様なキャリアを持つ専門チームによる高度な支援
- ▶人的資本の充実に向けたサポート強化

(お客さまライフステージ)



本業支援 事業性評価を起点とした本業支援
○ビジネスマッチング ○海外展開支援 ○事業承継 ○M&A 等

金融支援 お客さま支援の基本となる金融支援
○資金繰り対策融資 ○セーフティネット機能の発揮 ○財務構築改革支援
○成長投資支援 等

なお、詳細につきましては、商工中金高松支店までお問い合わせください。
【お問い合わせ先】
株式会社商工組合中央金庫
高松支店
〒760-0052 高松市瓦町 1-3-8
TEL.087-821-6145
FAX.087-851-6074

日本政策金融公庫だより

新型コロナウイルス感染症の影響により、一時的に業況悪化を来しているみなさまを対象とした「新型コロナウイルス感染症特別貸付」を取り扱っております。くわしくは、支店の窓口までお問い合わせください。

○新型コロナウイルス感染症特別貸付の概要

ご利用いただける方	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、一時的な業況悪化を来している方であって、次の1または2のいずれかに該当し、かつ中長期的に業況が回復し、発展することが見込まれる方 1.最近1カ月間の売上高または過去6カ月(最近1カ月を含みます。)の平均売上高が前4年のいずれかの年の同期と比較して5%以上減少している方 2.業歴3カ月以上1年1カ月未満の場合等は、最近1カ月間の売上高または過去6カ月(最近1カ月を含みます。)の平均売上高(業歴6カ月未満の場合は、開業から最近1カ月までの平均売上高)が次のいずれかと比較して5%以上減少している方 (1)過去3カ月(最近1カ月を含みます。)の平均売上高 (2)令和元年12月の売上高 (3)令和元年10月から12月の平均売上高		
お使いみち	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う社会的要因等により必要とする設備資金および運転資金		
融資限度額 (いずれも別枠)	国民生活事業	8,000万円	
	中小企業事業	6億円	
ご返済期間 (うち据置期間)	設備資金20年以内(うち据置期間5年以内) 運転資金20年以内(うち据置期間5年以内)		
利率(年) (注)	国民生活事業	6,000万円以内の部分	融資後3年目まで:基準利率-0.9% 4年目以降:基準利率
		6,000万円を超える部分	基準利率
	中小企業事業	4億円以内の部分	融資後3年目まで:基準利率-0.9% 4年目以降:基準利率
		4億円を超える部分	基準利率
担保	無担保		

(注)基準利率は、災害発生時の融資制度に適用される利率(融資期間に応じた所定の利率)が適用されます。主な貸付利率は日本公庫HPをご覧ください。

(支店窓口) **株式会社 日本政策金融公庫 高松支店**
URL : <http://www.jfc.go.jp>
〒760-0023 高松市寿町 2-2-7 いちご高松ビル 2・3階

国民生活事業(2階) Tel.0570-085-298 Fax.087-822-9274
中小企業事業(3階) Tel.087-851-9141 Fax.087-822-1423
農林水産事業(3階) Tel.087-851-2880 Fax.087-822-7350

香川労働局より

雇用関係助成金について

令和4年12月2日、令和4年度第2次補正予算の成立に伴い、雇用関係助成金について、賃上げや人材育成等に取り組む事業主等を対象とした助成金コースが新設及び拡充されました。

人材開発支援助成金（事業展開等リスキリング支援コース）や産業雇用安定助成金（スキルアップ支援コース）が新設されるとともに、5つの助成金コースにおいては、5%以上の賃金引上げを行う場合に手厚い助成内容を措置しています。

さらに、人材開発支援助成金（人への投資促進コース）の一部メニュー（定額制訓練及び自発的職業能力開発訓練）の助成率引上げ等の拡充も行われています。

なお、雇用調整助成金等については、令和4年12月から原則として通常制度に移行するとともに、新型コロナウイルス感染症に係る特例助成の経過措置を設けています。

また、産業雇用安定助成金については、支給期間の延長や出向復帰後の訓練（off-JT）に対する助成を新設する等の拡充を行っています。

賃上げや人材育成等に取り組む事業主等へのさらなる支援策となりますので、ぜひご利用ください。助成金の活用を検討される場合は、香川労働局助成金センター（TEL：087-823-0505）にご相談ください。

くるみんマークについて



「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の認定を受けた証です。

「くるみんマーク」

次世代育成支援対策推進法に基づき、一般事業主行動計画を策定した企業のうち、計画に定めた目標を達成し、一定の基準を満たした企業は、申請を行うことによって「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の認定（くるみん認定）を受けることができます。この認定を受けた企業の証が、「くるみんマーク」です。



「プラチナくるみんマーク」

平成27年4月1日より、くるみん認定を既に受け、相当程度両立支援の制度の導入や利用が進み、高い水準の取組を行っている企業を評価しつつ、継続的な取組を促進するため、新たにプラチナくるみん認定がはじまりました。プラチナくるみん認定を受けた企業は、「プラチナくるみんマーク」を広告等に表示し、高い水準の取組を行っている企業であることをアピールできます。



「トライくるみんマーク」

令和4年4月1日、くるみん認定・プラチナくるみん認定の認定基準の引き上げに伴い、新たに「トライくるみん認定」が創設されました。トライくるみん認定の認定基準は令和4年度改正前のくるみん認定と同じです。

■お問い合わせ先 香川県中小企業団体中央会・総務企画部（次世代育成支援対策推進センター）TEL：087-851-8311

BOOK RANKING

県内ベストセラー



順位	書名	著者	出版社／定価
1	NHK大河ドラマガイド どうする家康 前編	作:古沢良太 監修:NHKドラマ制作班	NHK 出版／1,320円
2	変な絵	雨穴	双葉社／1,540円
3	日本史を暴く	磯田道史	中央公論新社／924円
4	成熟スイッチ	林真理子	講談社／924円
5	80歳の壁	和田秀樹	幻冬舎／990円

香川県書店商業組合調べ